

令和5年度
「みやぎ高校生サイクルサミット2023」
活動報告

～ みんなで考えています 交通安全 ～



MIYAGI High School Students

CYCLE SUMMIT

(富谷高等学校生徒会考案)

宮城県警察・宮城県教育委員会

目次

- 1 今年度の概要 P 1
- 2 講話（警察本部交通企画課） P 2
- 3 グループワークの内容
作成したメッセージ（まとめ）
P 3～P 6
- 4 参加者の感想・全体講評 P 7～P 8

<参加校（17校）>

仙台二華高等学校	多賀城高等学校	仙台第二高等学校
築館高等学校	大河原商業高等学校	仙台東高等学校
仙台三桜高等学校	石巻高等学校	仙台第三高等学校
富谷高等学校	泉松陵高等学校	塩釜高等学校
古川工業高等学校	仙台市立仙台高等学校	
仙台市立仙台商業高等学校	石巻市立桜坂高等学校	
仙台育英学園高等学校		

○表紙のシンボルマークは、令和3年度のサイクルサミット開催時に、富谷高等学校生徒会の皆さんによって考案されました。

○「サイクルサミット（CYCLE SUMMIT）」の頭文字CとSをベースに図案化したもので、歩行者と自転車が行き交う街並みや道路を立体的にデザイン構成し、緑・ライトグリーンは「交通安全」「相手への思いやり」を表現しています。

○サイクルサミット当日は、「参加した高校生みんな交通安全について一緒に考えていこう」という願いを込めて、シンボルマークが入った缶バッチを身に付けて活動を行っています。

令和5年度「みやぎ高校生サイクルサミット2023」について

(今年度の概要)

1 目的

「みやぎ高校生自転車利用マナーアップ活動」の一環として、自転車の交通事故防止と交通ルール・マナー向上の定着化を図るため、高校生が主体的に取り組んでいる課題解決の活動について情報を共有し、その効果的な実践と今後の課題について考える機会とする。

2 日時・開催場所

令和5年8月3日（木） 午後1時から午後3時45分まで
東北工業大学八木山キャンパス5号館（531・532）

3 参加校

県内17高等学校の代表生徒31名及び各校交通安全担当教員18名

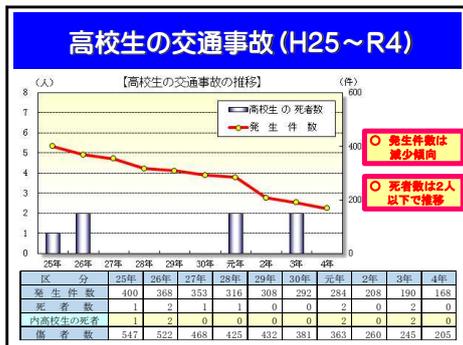
4 内容

- (1) 挨拶 【警察本部交通部参事官兼交通企画課長 後藤 聡善】
- (2) 講話「県内の自転車事故情勢とヘルメットの着用促進について」
【警察本部交通企画課】
- (3) 問題提起「昨年度のサイクルサミットの成果と課題から」
【東北工業大学 教授 小川和久】
- (4) グループワーク[ヘルメット着用と自転車事故防止に向けた啓発メッセージの作成]
テーマ：『高校生のクリエイティブな発想で、安全な社会をつくろう』
- (5) 全体講評 【東北工業大学 教授 小川和久】



講話

「県内の自転車事故情勢とヘルメットの着用促進について」



【過去10年間の交通事故件数の推移】

- 高校生が関係する人身事故は減少傾向
- 年間死者数は2人以下で推移

高校生の自転車事故 (R5上半期)

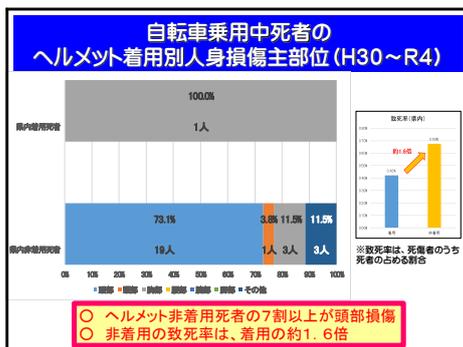
区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
令和5年	50	0	0	7	43	50
令和4年	47	0	0	2	48	50
増減	3	0	0	5	-5	0
減率	6.4	0.0	0.0	250.0	-10.4	0.0

※ 自転車乗用中の高校生が死傷した事故

○ 発生件数はほぼ横ばいだが、重傷者数が増加

【高校生の自転車事故発生状況（前年対比）】

- 事故発生件数は、ほぼ横ばい
- 重傷者数が増加傾向



【自転車乗用中死者の損傷部位（全年齢）】

- ヘルメットの非着用死者の7割以上が頭部損傷
- 非着用の場合の致死率は、着用の約1.6倍



- 仙台第三高等学校の生徒が、サイクルサミットの参加校代表として、春の交通安全県民総ぐるみ運動出発式において交通安全メッセージを発信した取組について発表しました。

グループワークの内容

グループワークは、7つの班（各班4～5名）に分かれ、テーマに沿って話し合いが行われました。

最初に、メッセージに盛り込みたいキーワードを付箋に記入し、それを基に各班で話し合い、メッセージを考えました。

参加した高校生は、明るく楽しく活動に取り組み、どのグループも高校生らしい前向きなメッセージを作成していました。

グループワーク（進め方）

テーマ【高校生のクリエイティブな発想で、安全な社会をつくろう】
学校名・名前（ ）

<1 キーワードを考えよう（個人）>

- メッセージに盛り込みたいキーワードを付箋に記入する。
- 一つの付箋には、一つのキーワードを書いてください。

<2 キーワードの共有（グループ）>

- 記入した付箋を基に、一人ずつ意見や考えを発表する。
- 出された付箋を用紙に貼り、同じようなキーワードをグルーピングする。

<3 メッセージの考案（個人）>

- 出されたキーワードを基に、具体的なメッセージを考えよう。

<自分の意見>

<4 メッセージを作成しよう【グループ】>

- 一人一人が考えたメッセージを集約し、グループ内の意見をまとめよう。

<グループの意見>



令和5年度「みやぎ高校生サイクルサミット2023」

「グループワークの進め方」

テーマ
【高校生のクリエイティブな発想で、安全な社会をつくろう】



<目的>
高校生の皆さんが様々な意見やアイデアを出し合い、「ヘルメット着用促進」と「自転車事故防止」に向けた啓発メッセージを作成することで、自分たちの学校や県内の高校での自転車事故防止や交通ルール・マナーの向上につなげることを。

2 キーワードの共有(グループ)
<14:15～14:25>

- 記入した付箋を基に、一人ずつ意見や考えを発表する。
- 出された付箋を用紙に貼り、同じようなキーワードをグルーピングする。




作成したメッセージ(まとめ)

【Aグループ】（仙台二華・大河原商業・仙台第三・泉松陵・石巻市立桜坂）

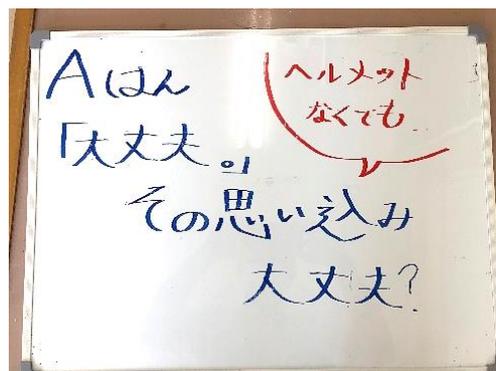
「大丈夫。」 その思い込み 大丈夫？

(理由)

- 「ヘルメットを着用しなくても大丈夫」と「車両などが走行していないので危険性はなく、赤信号や標識を守らなくても大丈夫」という二つの思い込みについて問い掛け、ヘルメット着用と交通事故防止の観点を一つのメッセージにまとめた。
- 5・7・5の形式にすることで、リズム感のあるメッセージにした。

<班で出された主なキーワード>

交通安全 命より大事な物 命は一つしかない
 本当に大丈夫 電動自転車 ペダル
 ヘルメット 前見て右見て左見て 危ないよ
 通学 ひと手間 救える命がある



【Bグループ】(仙台二華・大河原商業・塩釜・仙台育英)

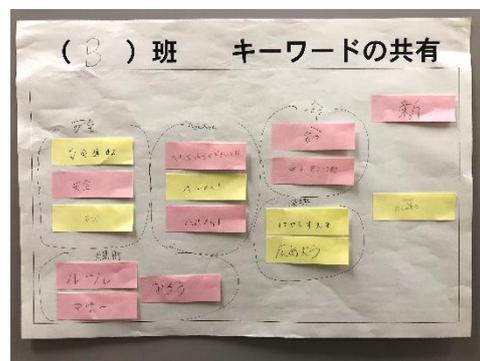
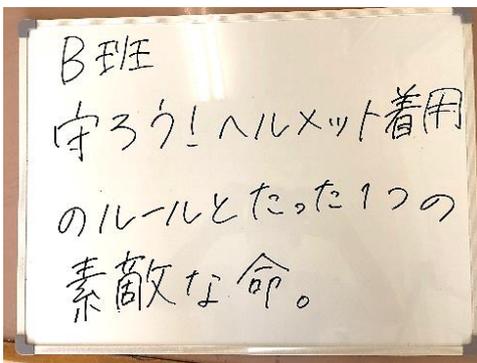
守ろう！ヘルメット着用のルールとたった一つの素敵な命

(理由)

- 「守ろう！」の言葉を文頭におくことで、このメッセージに興味を引き付けるように工夫した。
- 「ヘルメットを着用すること」は素敵なことであり、「ルールを守ることで一つの素敵な命が守られる」という思いを込めている。

<班で出された主なキーワード>

安全運転 安心 ヘルメット ヘルメットをかぶる心掛け ルール マナー
守ろう 命 命を守る行動 広めよう 日々の小さな努力



【Cグループ】(多賀城・仙台東・仙台第三・塩釜)

かぶるだけ 笑顔も守るよ ヘルメット

走ってる？ 車道側

声をかけ 私の愛車と 今日もゆく

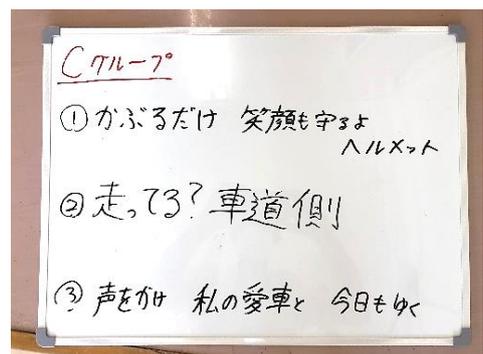


(理由)

- 頭を守るヘルメットを着用することで、誰かの笑顔を守ることができるという思いを込めた。
- 自転車での「左側通行」におけるルールを簡潔に示したメッセージにした。
- 昨年度のサイクルサミットで出された意見を基に、「自分の自転車に愛着をもつ」という気持ちをメッセージに込めた。

<班で出された主なキーワード>

信号 車道 歩道 十字路 曲がり角
落ち着いて 思いやり 譲り合い
ヘルメット ブレーキ 速度 命を守る
安全運転 ペダル トンネル ライト
下り坂 スピード (を出し過ぎない)



【Dグループ】(多賀城・仙台三桜・仙台第三・仙台・仙台育英)

風を切る 貴方の毎日に ヘルメットという アクセントを

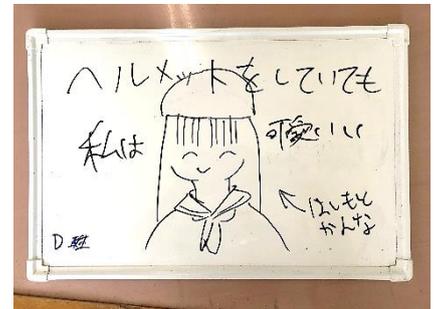
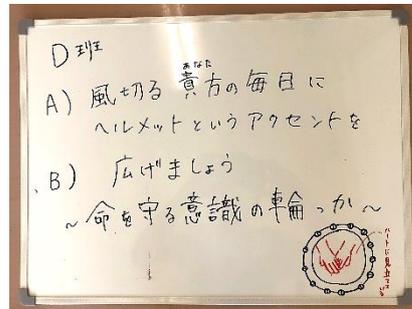
広げましょう ～ 命を守る意識の輪っか ～

(理由)

- メッセージを載せた広告(橋本環奈さんをイメージキャラクターに登用)を駅などに掲示し、ヘルメット着用に対するマイナスのイメージを払拭させる。
- ヘルメットを着用することが自分をよく見せるためのアクセントになってほしいという願いを込めた。
- 命を守るための安全意識を、自分だけでなく周りの人も意識し、その気持ちをみんなの輪(和)としてつなげてほしいという願いを込めている。

<班で出された主なキーワード>

安全第一 安心 笑顔
尊い 笑顔 ハートフル
つなぐ シグナル 標識
輪(和) 髪型 互いに
安全運転 心 生命



【Eグループ】(仙台第二・仙台三桜・富谷・仙台)

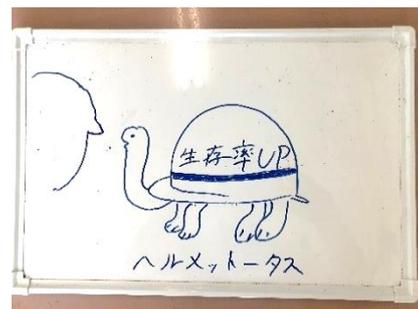
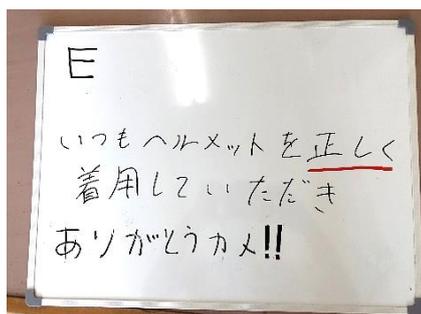
いつもヘルメットを正しく着用していただき、ありがとうカメ!!!

(理由)

- コンビニのトイレに掲示してある「いつも綺麗に使用していただきありがとうございます」のメッセージをヒントに作成した。
- ヘルメットタス(イラスト図)は、①亀の甲羅でしっかりと頭を守る、②自転車も車もゆっくり走ろう、という2つの意味を込めている。

<班で出された主なキーワード>

助かる命 命を守ろう 安全確認 交通安全 頭をガード 思いやり
自分のため 守りたい命 交通安全のその先へ ブレーキ ペダル



【Fグループ】(仙台第二・石巻・富谷・仙台商業)

三匹の中から 愛帽を選んでね!

◎立ち止まらない ◎転ばない ◎飲み過ぎない

◎スピードを出し過ぎない ◎周囲への気配り

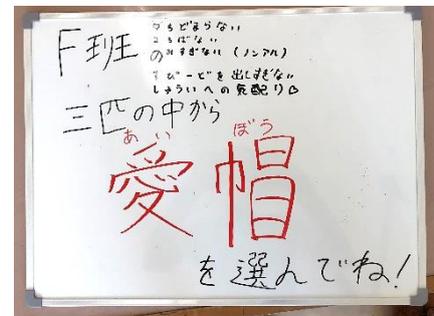


(理由)

- 「愛帽」は、①自分の自転車に名前(愛称)をつける、②ヘルメットは帽子の形をしている、その意味からネーミングを考えた。
- イラスト(図)は、ポケットモンスターをイメージし、「3つの中から選んだ相棒と旅をしていく」という意味を込めて作成した。
- 「いかのおすし」という防犯標語をヒントにメッセージを作成した。

<班で出された主なキーワード>

安全 笑顔 一列運転 周囲への気配り
譲り合い 周りを見て 一人一人の意識
命を守る 標識チェック 歩行者注意
ヘルメットに名前 ヘルメットかっこいい



【Gグループ】(築館・石巻・泉松陵・仙台商業)

子供達が憧れるヒーローに私達になりませんか。

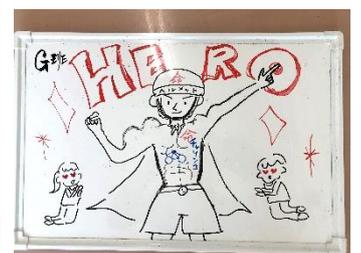
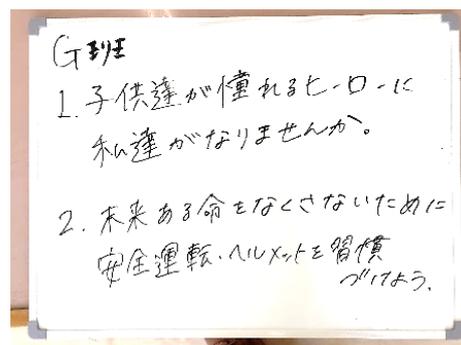
未来ある命をなくさないために、安全運転・ヘルメットを習慣づけよう。

(理由)

- 自分達が子供の頃、高校生はヒーローに見えていた。自転車のルールやマナーをしっかりと守る憧れのヒーローになってほしいという思いを込めた。
- 「未来ある命」は子供達を連想するようにした。その大切な命を守るため、私達が憧れるヒーローになり、ヘルメット着用と安全運転をしようという願いを込めた。

<班で出された主なキーワード>

お兄さん・お姉さん お手本
未来 イケメン 輝いて
高齢者 子供 命 習慣
注意 ヒーロー 減速
ヘルメット よく見る



参加者の感想(一部抜粋)

<生徒>

- サイクルサミットに参加して、他校で行っている交通安全運動の取組とその効果について意見交換することができた。自分たちの学校で行っていないマナーアップの強化や掲示物によって、活動内容をまわりに知ってもらうことなどに今後取り組んでいきたい。
- 参加しなかったら交わることがなかった高校生のみならず、各々の学校での取組などについてたくさん話し合ったり、一つの議題でディスカッションしたりするのがすごく楽しくておもしろかったです。
- 同じ年代の異なる高校の人たちと意見を出し合って話すという貴重な機会に参加できたことを嬉しく思う。立地など交通状況も異なっているので、他の高校の人たちの話を聞くのはとても参考になった。今後もこのようなイベントに精力的に取り組んでいきたい。
- 他校の取組を知ることで新たな取組の形やアイデアを得ることができた。複数校で交流することで自分の高校だけでは出ないような案が出たと思う。今回得たアイデアや案を基に、自分の高校で対策を進めていきたい。
- 考え方がそれぞれ違って、思いつかなかった言葉やイラストで小さい子にも分かりやすく、いろいろな目線から考えることができました。



<教員>

- 交通事故や特定小型原動機付自転車の情報など、貴重な話をたくさん聞くことができ、大変勉強になりました。グループワークでは、他校の生徒と話合いながら活動することで、様々な気付きも得られたのではないかと思います。メッセージを考案する際には、ネガティブな表現を避け、受け入れてもらいやすい言葉を使うことなど教員にとっても学べる面が多々ありました。命を守るための取組として、今後も継続してほしい。
- 生徒が主体的に交通安全について考え、それを自分の言葉で表現しようとする姿勢が印象的だった。また、普段関わるのが少ない他校の生徒と協働して課題に取り組んだことは貴重な体験であったと感じる。
- 生徒自身が交通事故の発生状況や傾向について、資料を基に講義を受ける機会は貴重であった。また、県内の様々な高校での取組に触れたり、メッセージを作成したりする活動を通して、啓発活動の意義や難しさに気付くことができたと思う。今回の取組を、本校でも交通安全週間や交通安全の集いを活用して周知させていきたい。
- 本日初めて、このサイクルサミットに参加させていただき、高校生の積極的な対話による様々なアイデアが生み出されていく様子には、大変驚かされました。普段、生徒同士で交通安全やヘルメット着用について考えるきっかけが少ないため、こういった機会を得た経験や学びを持ち帰り、さっそく活用していければと思います。



全体講評

<東北工業大学 教授 小川和久>

- 高校生の発想の豊かさ、人の心を掴む言葉（ボキャブラリー）にととても感銘を受けた。
- メッセージの意味が深く、「立ち止まって考えよう」という気持ちになるようなメッセージである。
- 「小さい子供の視点を意識する」や「自分の思い込みを振り返る」等、我に返るようなメッセージ（もう一人の自分が自分を意識する：メタ認知）があった。
- 楽しく、微笑ましくなるようなメッセージがあり、他の生徒が協力したいと思えるようなメッセージになっていた。
- まとめられた資料等を活用し、各学校の実態に応じて、交通安全の啓発活動につなげてほしい。
- できるだけ多くの生徒さんに協力してもらうために、段階的に活動を継続しながら、学校でのノウハウを蓄積できればよいと思う。各校での取組状況を、来年度のサイクルサミットにおいて話し合い、県内の高校生や地域での交通事故が減らせるように、引き続き、ご協力をお願いします。



みなさんの学校では、交通安全に どう取り組みますか？



みんなで考えています 交通安全



【サイクルサミットシンボルマーク】

みやぎ高校生サイクルサミット
(令和5年8月3日(木)開催)

2023テーマ
 『高校生のクリエイティブな発想で、安全な社会をつくろう』

これを見たら「ヘルメットをかぶろう」、「安全運転をしよう」という気持ちになるメッセージを考えました。

A班

ヘルメットをかぶる
その思い込み
大丈夫?

C班

① 荷物が 笑顔を
ヘルメット

② 走って 車道側!

③ 声を聞 車の安全 90km

④ ヘルメットをかぶることで、誰かの笑顔を守ることができると思います。

⑤ ヘルメットをかぶることで、誰かの笑顔を守ることができると思います。

B班

守ろう! ヘルメット着用
のルールとたった一つの
素直な命。

ヘルメットを着用することは命を守ることです。ヘルメットを着用することで、命を守ることができると思います。

D班

ヘルメットをかぶるたびに
ヘルメットをかぶるたびに
命を守ることができると思います。

ヘルメットを着用することが自分を守るためのアクションになってほしいと思います。

みなさんの学校では、交通安全にどう取り組みますか？
 宮城県警察・宮城県教育委員会

みんなで考えています 交通安全



【サイクルサミットシンボルマーク】

高校生の自転車事故防止や交通ルール遵守・マナー向上を図るため、高校生が主体的に取り組んでいる活動です。

みやぎ高校生サイクルサミット

(令和5年8月3日(木)開催)

2023テーマ

『高校生のクリエイティブな発想で、安全な社会をつくろう』

これを見たら「ヘルメットをかぶろう」、「安全運転をしよう」という気持ちになるメッセージを考えました。

Aさん
ヘルメット
かぶるも
大丈夫。
その思い入れ
大丈夫?



B班
守ろう! ヘルメット着用
のルールとたった1つの
素敵な命。

ヘルメットを着用しなくても、赤信号などを守らなくても大丈夫という二つの思い込みについて問いかけ、5・7・5の形式で一つのメッセージにまとめました。

ヘルメットを着用することは素敵なことであり、「ルールを守ることによって一つの素敵な命が守られる」という思いを込めました。

C班
① かぶるだけ 笑顔も守るよ
ヘルメット
② 走ってる? 車道側
③ 声をかけ 私の愛車と 今日とだけ



頭を守るヘルメットを着用することで、誰かの笑顔を守ることができるという思いを込めました。

ヘルメットをしていても
私は 可愛い
みんな
かぶるよ



D班
A) 風切る 貴方の毎日に
ヘルメットというアクセントを
B) 広げましょう
命を守る意識の車輪から

タレントをイメージキャラクターに登用し、ヘルメット着用に対するマイナスのイメージを払拭することを提案しました。

ヘルメットを着用することが自分をよく見せるためのアクセントになってほしいという願いを込めました。

みなさんの学校では、交通安全にどう取り組みますか?

宮城県警察・宮城県教育委員会